鳥の病気とその対策

「便秘」

尻をさかんに振り、いかにもフンをしたそうに息張るような格好をします。スリ餌が固すぎたときによく起こります。手当としては、鳥かごを30分ほどトイレにおいて臭気（アンモニアガス）を嗅がせるか、ヒマシ油かオリーブ油を筆先にひたして肛門にさし入れて塗ってやります。あるいは、食もたれの時と同様に、スポイトでヒマシ油を2～3滴飲ませても効果があります。青菜をいつもより多目に与えるようにしてください。

「下痢」

元気がなく、水のような柔らかいフンをします。肛門の周囲もフンで汚れるようになります。原因としては、悪くなっている餌を食べた時や食べ過ぎなどが考えられます。青菜を止め、木炭を細かく刻んで、微少量餌の中に入れてあげます。また、人間用の下痢止めの薬でも粉にして微少量餌と混ぜ合わせてあげても効きます。なお肛門の周囲はぬるま湯に浸したガーゼなどで、よく洗ってあげて下さい。

「風邪」

【症状】軽いうちは透明な鼻水を出し重症になると白っぽくなりさらに黄色化します。羽毛をふくらませてブルブル震え、止まり木に止まったまま元気もありません。
【対策】声桶の障子をはめてやり、暖かくしてやり（摂氏27～28度位）風を避けて日光に当てます。室内で湯を沸かすなどして湿度もあげた方が良いでしょう。餌はなるべくその鳥が好み、消化がよく栄養価の高いものを与えましょう。

「声がれ」

【症状】良い声でさえずっていた鳥の声が突然かれてしまいます。
【対策】声桶の障子をはめ、室温、湿度とも風邪の時と同様高めてやります。「特にウグイスの場合は、声桶の中を暗くし、静かに落ち着かせます。」蜂蜜を水で薄めたものをスポイトで少量飲ませます。

KAWAI